

【もっと現場を知る！短期派遣研修 復命書】

1 高津川大学 川ガキ講座

●日 時 平成23年7月17日（日） 8：00～16：00

●場 所 益田市匹見町匹見 匹見川（萩原公会堂横）

●内 容

- ・NPO 法人アンダンテ21が事務局を持つ、高津川大学のイベントとして開催された。
- ・高津川周辺地域の豊かな自然や文化を守り育み、そして楽しむ場をつくり、さらに次世代につなぐことを目的とし、流域で生活し活動されている人々から学び相互に連携する継続事業として毎年実施されているイベントである。
- ・イベントは、午前中に「魚の生け捕りと串差し」と「竹による食器作り」を行い、株式会社法人の形態で地元のお年寄りが運営する「萩の会」の地元食材を使った昼食を食べたのち、午後は、1時間程度「川遊び」を体験した。
- ・親子での参加で、今回は小学生を中心に60名強が参加し、益田市を中心に、広島県福山市、原発事故の影響により福島県から県内に避難している住民も参加していた。
- ・参加者の募集には、市内小学校に周知したものの参加申し込みが低調であったため、中国新聞の協力により参加者を確保するなど大変なご苦勞があったとのこと。
- ・地元匹見の学校にも参加を打診したところ、少子化のため小学校の部活動実施に影響が出ることから、（もっとも伝えたい）地元の参加者が得られにくいとのことであった。
- ・運営には、高津川フレンドリバー協議会、漁協、地域の住民、県立大学の「環境クラブしまえっこ」など50名程度が参加していた。
- ・小生は、当日、事務局として川に近い部分の運営補助を行った。

●感 想

- ・高津川大学の参加者には、本イベントが大変好評であり、「また来年も来たい」、（川に入らなかった大人から）「自分も泳ぎたい」など好意的な感想が多かったのが大変印象的であった。
- ・小生自身、小学生の頃、「川ガキ」であり、懐かしいと思う反面、川には危険のあるということと、一方で恵みを与えてくれるものであるということ、その自然に沿って文化や昔からの人の営みがあることを改めて感じた。参加者もきっと同じ意見であると思う。（小生も来年は子供と参加したいと思う。）
- ・反省会では、地域の熱心ないろいろな人とお話が出来た。この後の研修でも交流を行い、引き続き自分の認識を深めたい。

【もっと現場を知る！短期派遣研修 復命書】

●イベントの様子



魚（アマゴ）のつかみ取り



魚（アマゴ）の調理風景



食事(アユのおむすび、アユの酢の物、アマゴの塩焼きなど)



川遊び（水の勢いを感じる）



川遊び（飛び込み）



川遊び（飛び込み場所に行くためにロープにつかまる）

【もっと現場を知る！短期派遣研修 復命書】



川遊び（ゴール直前風景：橋の下がゴール）

【もっと現場を知る！短期派遣研修 復命書】

2 市民参加型 ハマグリ稚貝一斉調査

- 日 時 平成23年8月27日（土）
6：30～15：00
- 場 所 益田市中須町地内（中須海岸）
津田町地内（津田海岸）
- 内容
 - ・アンダンテ21の行事として実施された。
 - ・午前中に稚貝の調査、午後に昼食及び海水浴が実施された。
 - ・目的は、中須海岸及び津田海岸に生息し、年間10トンの水揚げがあるハマグリ（チョウセンハマグリ、愛称「鴨島ハマグリ」）の生息状況を確認するため、稚貝等を調査する。
 - ・調査方法は、調査海岸において数か所を抽出し、1～2ミリ程度の穴の網のついた籠で海底を1㎡掻き、その試料から、目視により手作業で稚貝（0年齢で1～3mm、1年で10mm程度）を収集する。一方で、範囲にかかわらず海岸に生息するハマグリを集め、大きさ毎の数量の確認や生殖器の調査のため別に保存する大型個体の選別などを行った。
 - ・採取にあたっては、島根県規則に基づき特別採取許可を受け実施していた。
 - ・過去2年調査を実施しており、本年度は3年目の実施とのこと。従来は、中須海岸での調査であったが、近年津田海岸でもハマグリが生息が確認されていることから、調査対象に含めた。
 - ・当日は、2～4センチの個体が、中須海岸では、40個程度、津田海岸では、370個のハマグリが採取され、7cmのハマグリも採取された。
 - ・実施にあたっては、市民の参加を求め、市民が参加していたほか、夏の思い出作りに東京から地元にはゆかりのある小学生が参加し、救命胴衣着用の上、調査を行っていた。
 - ・小生は、イベント前のテント等設営、津田海岸のハマグリ採取、採取個体の計測等のほか事務局補助業務を行った
- 感想
 - ・ハマグリは、かつては全国各地の海岸で見られたとのことであるが、現在は限られた地域でのみ生息が確認されているだけで、中須海岸はその数少ない繁殖地との説明であったが、当日の調査では、90%以上が津田海岸で採取されたものであった。稚貝が少数しか確認されなかったことにより、中須海岸での漁獲がどのように変わるのかということに興味を覚えるとともに、益田市沿岸の生息状況をもっと調べる必要も感じた。
 - ・今回のイベントでは、東京の子どもたちが10名程度参加していた。地元に住む人間には、余り興味を持ってない場所であっても、子ども達には大変興味がわいたようで。時間の許す限り精一杯海水浴を楽しんでいた。このイベントでは、主催者により楽しんで調査をするという趣旨が徹底されており、子ども達には素晴らしい夏の思い出に

【もっと現場を知る！短期派遣研修 復命書】

なったと思う。

●イベントの様子



子どもたちへの説明



採取道具の準備



採取中



津田海岸で捕獲したハマグリ



放流



調査中

【もっと現場を知る！短期派遣研修 復命書】



昼食の光景



昼食の光景 2



海水浴の光景



ハマグリ の 大き さ 標 本

(前述のバケツ内のサイズは、左の3年目のサイズ)

【もっと現場を知る！短期派遣研修 復命書】

3 第1回森の健康診断

●日 時 平成23年9月19日（祝月）

9：00～17：00

●場 所 鹿足郡津和野町日原地内

●内 容

- ・ 津和野町の実施する「山の宝でもう一杯」なる木材チップバイオマス事業から派生し、NPO法人「アンダンテ21」、「もりふれ倶楽部」、津和野町及び島根県が主催して実施された。
- ・ 本事業は、全国各地で実施されているが、最初に事業を行った団体は、台風通過後の人工林の被害状況が余りに酷かったことから、統計上の現状ではなく実際の人工林の実態を知るべく事業を開始したとのこと。大学の教授により高価な道具を使うことなくほぼ100円ショップで入手可能な道具を組み合わせ、調査をする手法が普及したことにより市民レベルの活動として全国的に広まっている。
- ・ 今年度初めて行う事業であり、今年5月に調査のためのリーダー研修を実施し、今回は、参加者を募って実施した1回目。
- ・ 参加者は40名強、松江市、奥出雲町からの参加者もあり、6班に分かれて予め設定されたスギ、ヒノキの人工林の調査を行ったのち、計算作業等を行い、最後に各班の発表を行った。
- ・ 1班につき2箇所的人工林を調査する予定であったが、雨天のため、1箇所のみ調査した。
- ・ 調査地点は、県道から100m程度離れたヒノキが植えられた斜度40°の急斜面であり、枝打ちなど手を加えられた形跡があるものの、薄く腐植土がある程度の日も射さない荒れた土地の印象であった。他の調査地点も同様の状況であった。

【もっと現場を知る！短期派遣研修 復命書】

●感想

昨年、別のNPO法人に派遣になった際にも山の状況を見て、その内容の解説を受け荒廃具合に驚く状況であったが、今回その実態を再確認した。前2回の研修では「川や海の恵みも、荒れた山から流れた水では、生物が育たない。」という説明を受けてきており、その内容を実感する結果となった。

本事業は、里山の間伐材を利用した木質バイオマスの循環を津和野町の地域通貨を使用して地域の活性化を考える事業である津和野町事業の「山の宝でもう一杯」の検討から話が広がってすすめられたとのこと。結果について、活用がされることに期待したい。

切り出された間伐材は、道の駅の温泉ボイラーで使用されるとのことである。昨年の研修でも民間企業での燃料費削減の実態も知る者としては、行政にとっても大きなメリットがあり、従来支払っていた燃料代が石油会社ではなく、山の持ち主や運搬する町民に還元される点で、改めて地域の活性化も期待できると感じた。

今後、昨年の研修でお会いした「土佐の森救援隊」の「中島謙三」氏による簡易な山の木だし方法などの研修が予定されており、今後津和野町でのこの事業の進捗に注目したい。

●調査の様子

津和野町課長補佐冒頭あいさつ



人工林調査（土の状況）



人工林調査（低木、草の生育状況）



人工林調査（樹木の胸高直径確認）



【もっと現場を知る！短期派遣研修 復命書】

人工林調査（樹木の胸高直径確認）
写真中央は県大生



人工林調査（簡易測定器具による樹高確認）



人工林調査（調査風景全景）



小生は、右から2番目 記録担当

調査終了後
秋の七草について講義



調査終了後の各班の調査結果発表



【もっと現場を知る！短期派遣研修 復命書】

4 ひきみ田舎体験推進協議会サポート「西益田小学校森林体験」

●日 時 平成23年10月3日（月）

8：30～16：00

●場 所 益田市匹見町匹見地内

（裏匹見峡 匹見峡レストパーク付近）

●内 容

- ・益田市匹見支所で事務局を持ち匹見町内の団体が参加する「ひきみ田舎体験推進協議会」が、益田市教育委員会の依頼により今年度初めて行った事業。
- ・市教育委員会の方針（山の現状を理解する。伐採作業を実際に体験するなど）に基づき、西益田小学校の5年生30名の総合学習の一環として実施された。市としては、来年度以降他校にも拡大したいとの意向がある。
- ・内容は、午前中が、4班に分かれ、子供向けに表現を見直したマニュアルを使った「森の健康診断」、午後は、2班に分かれて、間伐材の丸太の切断、実際の山林内での伐採体験を行った。
- ・アンダンテ21は、協議会の依頼を受けて、参加しているが、協議会にもアンダンテ21の会員がおり、「森の健康診断」については事実上アンダンテ21の事業である。
- ・小生は、班のリーダーのサポートスタッフとして参加した。
- ・「森の健康診断」は、アンダンテ21も今年度から実施し、リーダー研修（5月）を行い、9月に1回実施しているが、今回こども向けの行事を行うことから、この手法を普及啓発し、アンダンテ21に指導している愛知県のNPO「矢作川森の健康診断実行委員会」もその進展の早さに驚き、事務局長が急遽視察に来ていた。
- ・午前中の実施場所は、奥匹見峡のレストパーク近くの杉の人工林、状態の異なる4地点を班ごとに1カ所調査した。
- ・小生の班は、斜度40度の急勾配で、日も差さず気温が低い場所であった
- ・午後、子供達は、コースターやイスに見立てて一生懸命丸太切りをしたり、大歓声をあげて伐採作業をしたりするなど大変満足そうだった。
（伐採後、「（森林組合に）就職内定をもらった。」と喜ぶ子供がいた。）

●感 想

小生の班は、斜度40度の急勾配で、日も差さず気温が低い場所であったため、大人でも厳しい場所であり、元気な子供達であっても、集中力が低下する子供もいて、終了後の反省会ではリーダーの指示の方法、運営や調査方法に改善の余地があるとの意見が多かった。初めての実施でもあり反省が生かされれば、塾度の向上と共に良い授業になる可能性は十分に感じた。初回となる今回の内容も、市の教育委員会の授業求めるレベルには達していると思われた。この授業が、益田市内の子供達に一次産業の実態だけではなく清流日本一の高津川の日本一たるゆえんについて伝わる取り組みとして、今後成長することを願う。

小生の担当業務では、前回経験しているとはいえ、マニュアルで使用されている専門用語が、子供達に伝えるには難しいと思われ、予備知識のない中でうまく伝えられたか

【もっと現場を知る！短期派遣研修 復命書】

反省すべき点もあった（あくまでもサポートなので、期待されていなかったかもしれないが・・・）。短期研修で当日指示を受けた内容とはいえ、子供達とは一期一会、今後起こるいろいろな場面で、分野は変わってもその状況下で少しでも判りやすい説明ができるよう努力し続けたい。

● 当日の様子



丸太切り体験



終わりの会（感想の発表）

【もっと現場を知る！短期派遣研修 復命書】

5 ハマグリアート展示会

- 日 時 平成23年11月 3日（木祝） 9：00～17：00
- 場 所 益田市有明町 島根県芸術文化センター グラントワ 多目的ギャラリー
- 内 容
 - ・アンダンテ21の行事として実施された。
 - ・展示会に出品される作品の応募は、8月10日から10月11日まで行われ、11月4日から11月10日まで展示された。優秀な作品については、市長賞、JFしまね賞、各市長教育長賞など表彰が行われた。
 - ・目的は、ハマグリの殻を使った作品を募集、展示することにより益田市の海岸で漁獲量が回復しているハマグリを通じて、生育環境と深く関係する高津川や山の環境を守ることの必要性といったアンダンテ21の一連の取り組みを周知すること。
 - ・13時よりグラントワ内小ホール控え室にて作品の展示ディスプレイを制作し、19時より多目的ギャラリーへの搬入及び設置を行った。
 - ・出品は、地元の保育園児から、80歳代の高齢者まで幅広く参加があり、240点もの作品が展示された。
- 感 想
 - ・ハマグリを食べるだけではなく、作品として捉えることにより、周知をするという考え方は、素晴らしいアイデアだと思う。一方で、山の森林の環境や川を汚さない取り組みなどの部分を展示会場でどれだけアピールできるかという点では、検討用の余地があるように感じた。
 - ・継続は力であり、この取り組みにより一層アンダンテ21の活動が一般市民に認知され、本来の活動が市内に広まって行くことを願う。

●当日の様子



展示作品1 市長賞

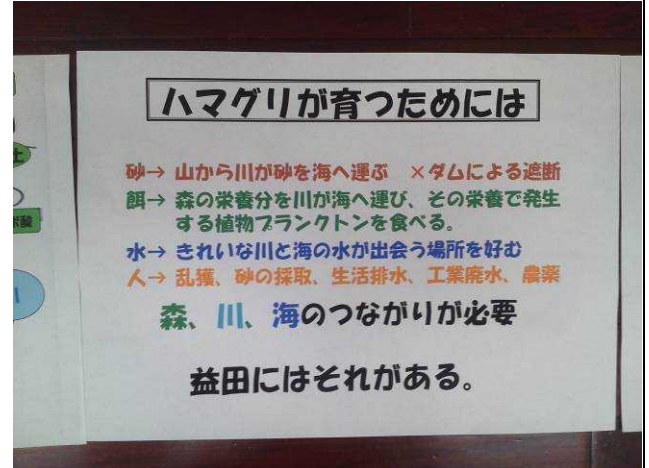


展示作品2 JFしまね賞

【もっと現場を知る！短期派遣研修 復命書】



ハマグリ の 生育環境 の 周知 1



ハマグリ の 生育環境 の 周知 2



作業完了後の多目的ギャラリーの状況 1



作業完了後の多目的ギャラリーの状況 2

【もっと現場を知る！短期派遣研修 復命書】

6-1 どんぐりの森づくり（植栽）

●日 時 平成23年11月15日（火）

13:00～15:30

●場 所 益田市向横田町地内

1級河川高津川水系後湍川（うしろえきがわ）右岸民有地

●内 容

- ・島根県企業局の「源流地域保全支援事業」により水源地涵養の普及啓発事業として実施しており、今年度は3年目である。
- ・作業内容は、後湍川横の民有地（残土処分を行った土地）に、昨年竹ポットを作り育てたどんぐりの苗を植栽した。
- ・戸田小学校、西益田小学校、真砂小学校、横田保育園が環境教育の一環としてとして参加していた。
- ・参加者は、地元の森林ボランティアの指導のもと、竹ポットごと植栽を行った。場所は、石が多く含まれた残土処分場であったため、竹ポットを植えることができる深さまで掘るのに苦労していた。
- ・今回植栽を行った場所の横の土地には、過去2年に植栽されていたが、枯れたり、イノシシの被害にあった木もあり、今回余った苗で再度植栽を行った。
- ・植栽されたどんぐりの苗は、ナラ・カシなどであり、植栽後数年は、生育のため、繁茂する草の刈り取りにより、日光が遮断されないよう管理する必要がある、アンダンテ21他のボランティアの手によって守られるとのこと。
- ・小生は、当日の現地での植栽作業の補助を行った。

●感 想

- ・参加した子ども達からは、「植えた木が大きくなった姿を見たい」、「楽しかった」などの意見があり、良い経験になったものと思う。

●当日の様子



植栽前



竹ポットで栽培されたどんぐりの苗

【もっと現場を知る！短期派遣研修 復命書】



企業局のあいさつ



苗の種類の説明



保育園児の植栽風景（固くて掘れません）



植栽後の苗



植栽作業の風景



最後の記念写真

【もっと現場を知る！短期派遣研修 復命書】

6-2 どんぐりの森づくり（竹ポットづくり）

- 日 時 ①平成23年11月28日（月） 13:00～15:30
- ②平成23年12月 1日（木） 13:20～15:35
- ③平成23年12月 7日（水） 13:30～15:35

- 場 所 ①鹿足郡津和野町佐鑑 佐鑑公民館
- ②益田市波田町 真砂小学校
- ③益田市横田町 西益田小学校

●内 容

- ・島根県の「水と緑の森づくり」事業として採択されアンダンテ21実施している事業。
- ・どんぐりの森作りで植栽する竹ポットを制作し、児童が拾ったどんぐりを埋め、苗を作る作業を授業、地域の事業として実施。
- ・戸田小学校、西益田小学校、真砂小学校、佐鑑小学校で実施。
- ・作業にあたっては、理事長より児童に「水の循環と森の関係」などどんぐりを植える意味を説明した後、刃物等の道具を使うことについて注意を行ったのち開始した。
- ・作業内容は、次のとおり
 - ① 孟宗竹を節の部分が底になるようにのこぎりで20cm程度に切り、鉋と槌で薄くそぎ、電動ドリルで穴を開け、竹ポットを作る。
 - ② 腐葉土、鹿沼土、赤土を配合した土を15cm程度ポットに入れ、予め水に浸け発芽する状態にしたどんぐりを2個上にのせ、さらに同じ土をかぶせる。
 - ③ 冬場の保温のため、植えた竹ポットはトロ箱に集めて入れ、竹ポット間の隙間を土で埋めたあと、学校等で水やりがなされ、来年秋に植えられるまで管理される。
- ・道具は、法人が水緑税などにより購入したノコギリ、電動ドリル等や事前に伐採し適当な大きさに切られた孟宗竹を持参していた。
- ・今回の作業では、地域の公民館を通じて地域の方々が参加し、児童の作業が円滑に進むようにサポートを行っていた。
- ・小生は、児童が行う作業の補助、作業の助言を行った。

●感想

- ・水の循環の中での森の役割と竹ポットの作りを学校の授業として児童に教えることは、大変有意義な活動であり、好感が持てる内容である。これから、日々大きくなる苗の成長過程を見て、来年植えることを通じて水や森の大切さを学び、島根、益田の地の豊かさを知った人間になってほしいと思う。
- ・西益田小学校では、授業の終わりに大変すばらしい合唱を聞かせていただいた。大きくなって、歌声から感じたすばらしい人間に成長してほしいと思う。

【もっと現場を知る！短期派遣研修 復命書】

●当日の様子



事前説明（佐鏡公民館）



事前説明（真砂小学校）



電動ドリルを使った作業風景（佐鏡公民館）



ノコギリを使った作業風景（真砂小学校）



地域のお年寄りのサポート（真砂小学校）



作業全景（西益田小学校）



竹ポットへの土入れ作業（真砂小学校）



竹ポットのトロ箱入れ作業（真砂小学校）